



## ■はじめに

10月は、「リデュース・リユース・リサイクル推進月間(略称:3R※推進月間)」です。農場から出る廃棄物の量を減らすため、どのような取組が可能か考え、実行しましょう。農場から出る可能性のある廃棄物を特定し、保管方法、保管場所、廃棄・処分の方法などについて計画を立てることもGAPの取組の1つです。廃棄物は分別し、廃棄するまで決められた場所で適正に保管しましょう。

※Reduce:廃棄物の発生抑制、Reuse:再使用、Recycle:再資源化 (出典:経済産業省 HP)

## ■トピックス

大阪・関西万博における「持続可能性に配慮した調達コード(第2版)」が公表されたことを受け、大阪中央青果(株)を訪問し、GAPの取組について市場関係者と意見交換を行いました。ぎふ清流GAPの推進に向けていただいたご意見を紹介します。

### 大阪中央青果株式会社 法心専務取締役へのインタビュー

#### ○GAPの取組について

- 市場においては、販売先との取引のため、HACCPやISOに取組む仲卸は少数いるが、GAPに対する意識はまだ低い。
- GAPは、異物混入防止、農薬・肥料の適正使用、労働安全等の為に生産者がすること。
- これまでGAPの相談があった産地に伝えてきたことは、GAPをやれば産地評価や農産物価格が上がるものではないが、トラブル発生時にGAPにあるような当たり前のことができていない産地はイメージダウンになる。
- トラブル発生時に迅速かつ正確な初期対応ができる産地は、信頼回復が早く、ダメージが少なくてすむ。これがGAPに取組むメリット。
- どの産地もトラブルが起きない保証はない。GAPでリスク管理を行っていくことは大切。

#### ○大阪・関西万博に向けた動きについて

- 今のところ、食材調達に関する相談や情報は入っていない。今後の動きを注視していきたい。



ちょっとウラ話  
因果関係は不明ですが、  
1970年の万博の時は  
ジャガイモ、タマネギの  
需要が急増したそうです！

## ■GAPでの重要な視点(農場経営管理)

- ※ トラブルが発生した場合に迅速に対応するためには、出荷した商品が、いつ、どこで、誰が、どのように生産し、出荷されたのか、追跡または遡及できることが大切です。
- ※ 農場管理に必要な記録を整理し、日々の活動を記録、保管しましょう。
- ※ また、日頃から商品回収やクレーム発生時の対応手順を考えておくことも大切です。作成した手順に沿って対応することが可能かテストを行っておくこともポイントです。

### <事例紹介>



道具類の置き場所が決められ、数量が一目でわかるように、整理整頓されている事例です。



当日の作業場所や作業を行う順番が一目でわかるように、事務所入り口に掲示している事例です。

## ■ぎふ清流GAPの取組状況(R5年9月現在)

- ぎふ清流 GAP 認証農場 :98 農場
- ぎふ清流 GAP パートナー※ :61 団体

※ぎふ清流 GAP 農産物の認知度向上と消費拡大を応援する流通販売等に携わる企業・団体

| 区分  |      | 件数 |
|-----|------|----|
| 農産物 | 穀物   | 28 |
|     | 青果物  | 60 |
|     | 茶    | 3  |
| 林産物 | きのこ類 | 7  |
| 合計  |      | 98 |

### ■「ぎふ清流GAP評価制度」に関する情報

Webサイト 検索 [ぎふ清流GAP \(岐阜県公式ホームページ\)](#)  
 制度の概要(要領・要綱の閲覧)、申請様式等のダウンロード、認証農場の紹介

### ■「ぎふ清流GAP通信」に関するお問い合わせ

(一社)岐阜県農畜産公社 ぎふ清流GAP推進センター  
 電話:058-216-1566 FAX:058-216-1567 Eメール:gifu-gap@gifu-notiku.com

